

## いかなごの漁獲量

いかなごは、兵庫県瀬戸内海側の漁獲量の約3割を占める大変重要な魚種となっています。

いかなごの漁獲量は、増減を繰り返しながら、平成14年頃までは概ね20,000トン前後で推移していましたが、近年は10,000トン前後で推移しています。最も多かったのは昭和45年の38,948トンとなっています。平成23年以降全国1位の漁獲量となっていますが、近年は減少傾向にあり、水温の上昇や栄養塩の不足などによりさらに減少することが懸念されています。

いかなごの資源を持続的に利用するために、一定以上の大きさになるのを待って漁を解禁したり、操業時間の制限や終漁日の決定など、漁業者が話し合って自ら資源管理に取り組んでいます。

